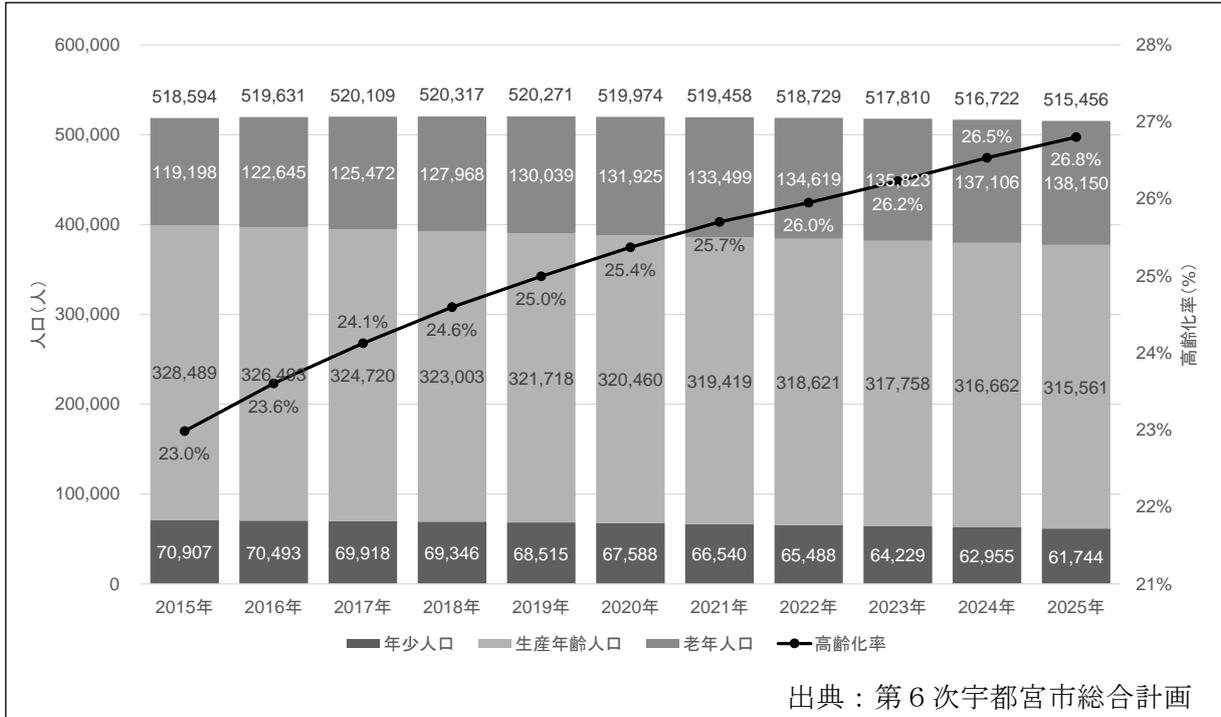


高齢者を取り巻く環境の動向について

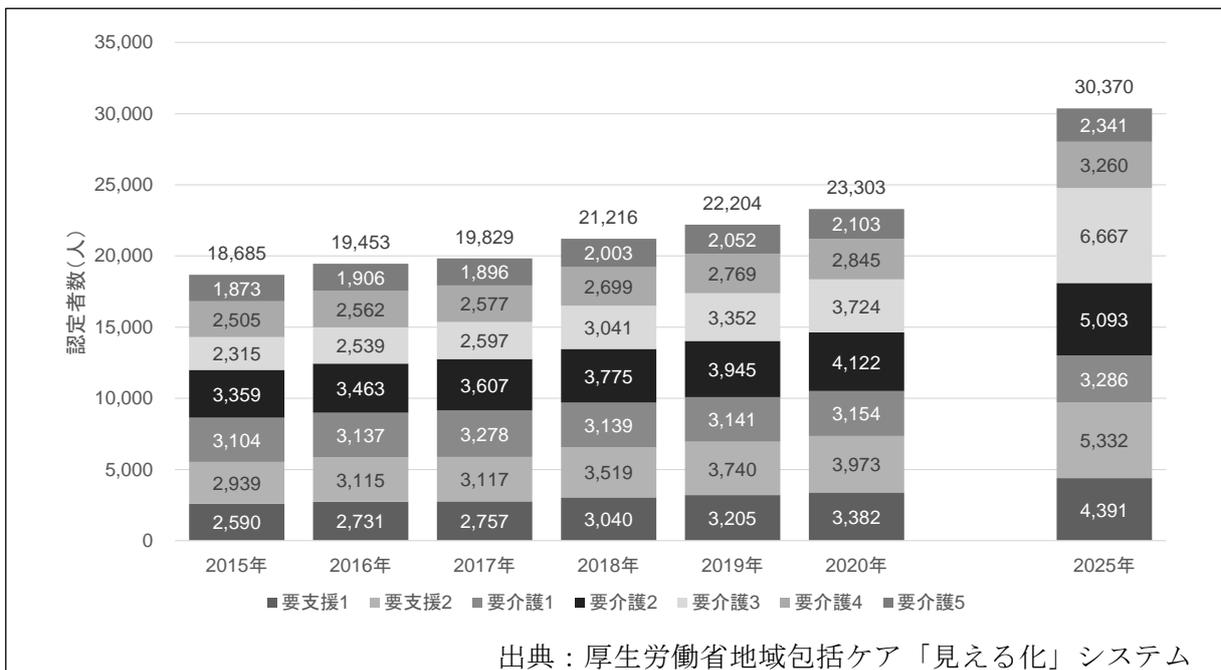
1 人口の見込み

本市の人口は2018年（平成30年）をピークに減少に転じる一方で、老年人口は増加し年少人口は減少すると見込まれ、これにより、本市の高齢化率は年々上昇し2025年（平成37年）には26.8%に達するものと見込まれる。



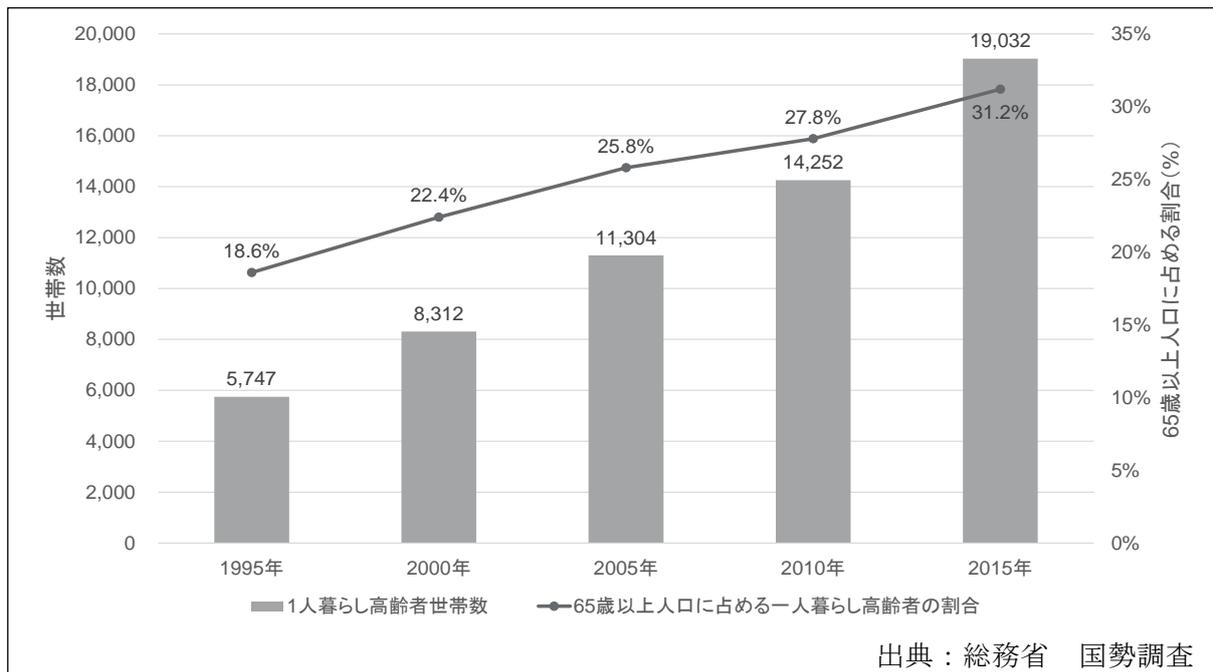
2 要介護・要支援認定者の見込み

要支援・要介護認定者数は年々増加しており、2025年（平成37年）には3万人を超えるものと見込まれる。



3 高齢者の家族と世帯

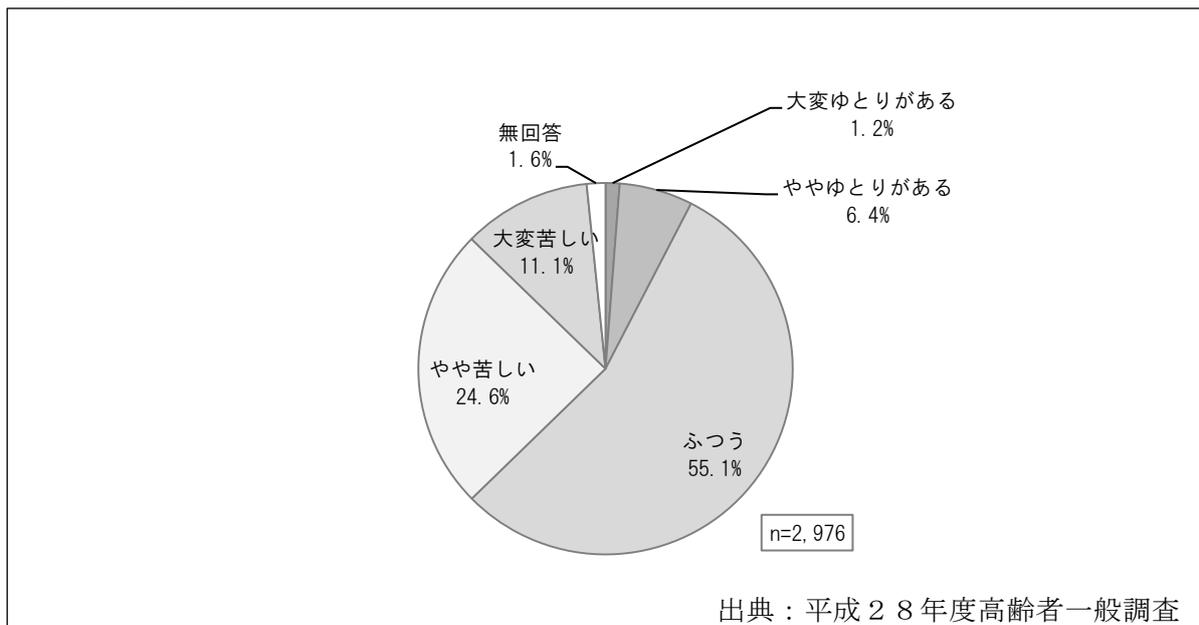
一人暮らし高齢者は増加傾向にあり、2015年（平成27年）時点で、高齢者の約3割が単身世帯となっている。



4 高齢者の経済状況

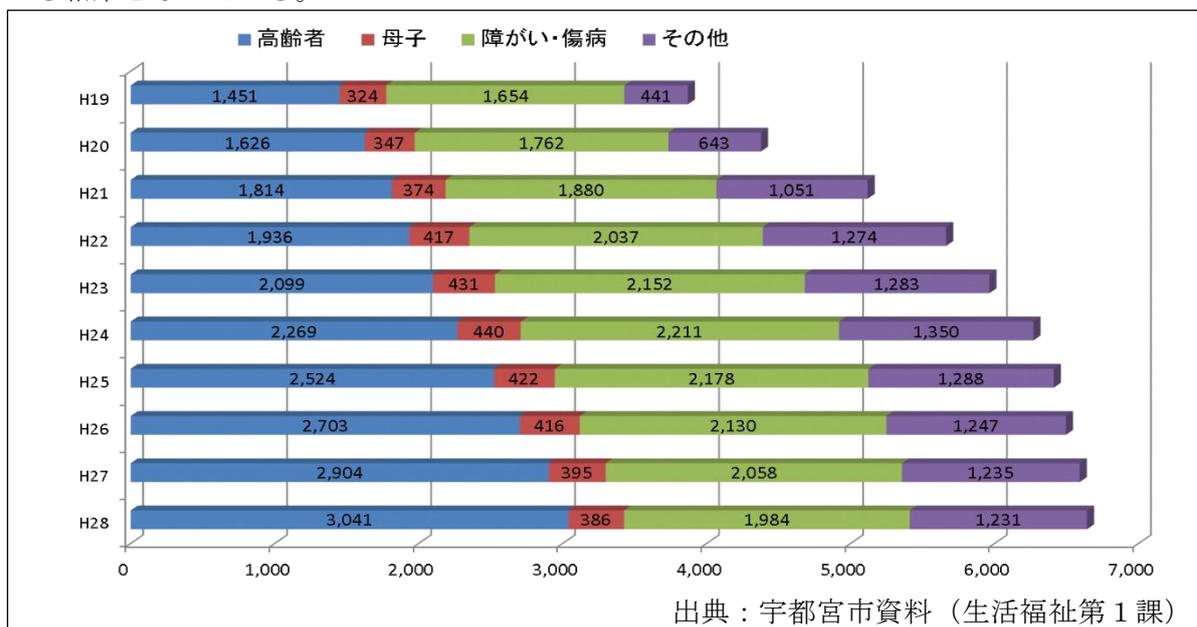
(1) 高齢者の暮らし向き

経済的にみた暮らしの状況について、市全体では「大変ゆとりがある」（1.2%）、「ややゆとりがある」（6.4%）、「ふつう」（55.1%）となっており、「ふつう」以上の合計（約63%）が「やや苦しい」「大変苦しい」の合計（約36%）を上回る結果となっている。



(2) 65歳以上の生活保護受給者

生活保護受給者は増加傾向にあり、2016年（平成28年）時点で、3千世帯を超える結果となっている。



5 認知症高齢者数の推計

高齢化に伴い、国の認知症高齢者数推計においても、認知症高齢者（要介護認定者における日常生活自立度Ⅱ以上）数は年々増加する傾向と見込まれている。国の推計を本市にあてはめて推計した場合、2015年には10,222人の認知症高齢者がいると推計されており、2025年には、約14,000人まで増加すると見込まれている。

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)
65歳以上人口 に対する比率（全国）	9.5%	10.2%	11.3%	12.8%
認知症高齢者数 （全国）	280万人	345万人	410万人	470万人
65歳以上人口 に対する比率（宇都宮市）	8.2%	8.4%	9.0%	9.8%
認知症高齢者数 （宇都宮市）	8,297人	10,222人	約12,000人	約14,000人

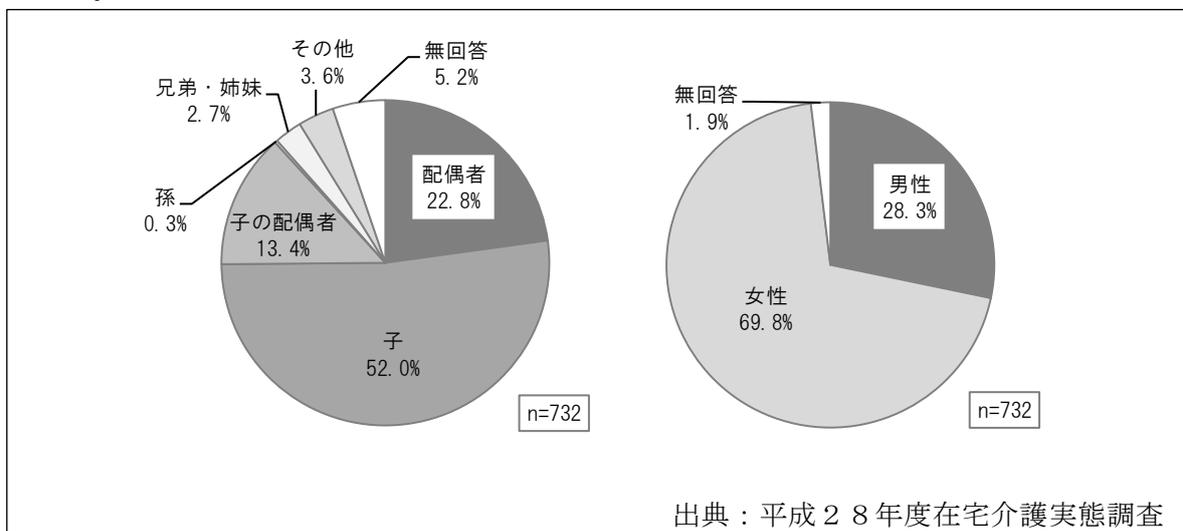
出典）65歳以上人口に対する比率（全国）は厚生労働省老健局高齢者支援課認知症・虐待防止対策推進室公表資料から引用

認知症高齢者数（宇都宮市）は、認知症高齢者数（全国）の伸び率、宇都宮市人口ビジョン（平成27年10月）を基に推計

6 高齢者の介護

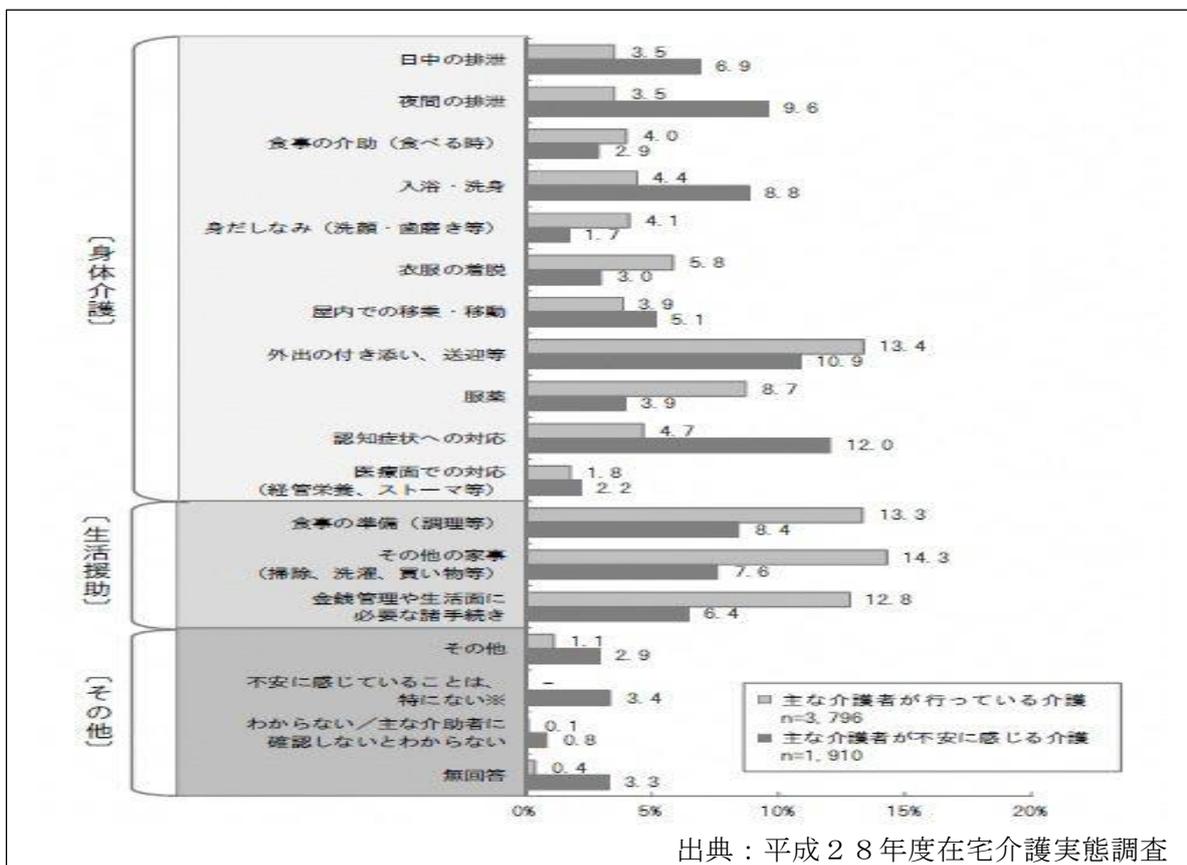
(1) 主な介護者

主な介護者の属性は「子」(52%)、性別では「女性」(69.8%)が最も高くなっている。



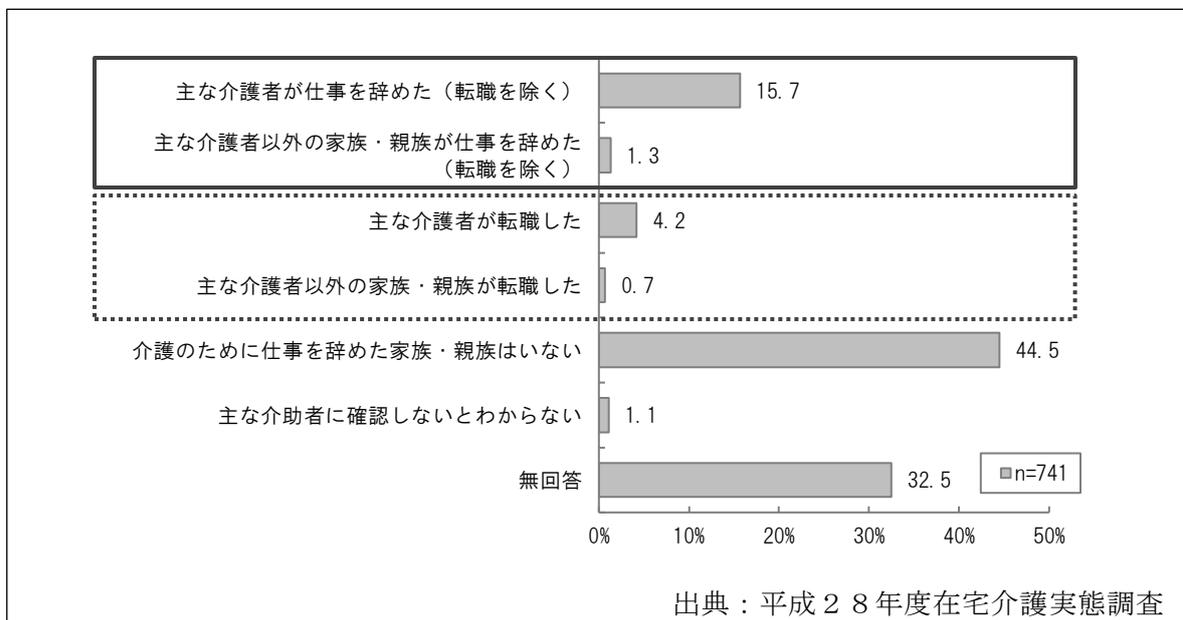
(2) 主な介護者が行っている介護の割合

主な介護者が行っている介護について、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(13.4%)が最も高く、次いで「服薬」(8.7%)となっている。生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(14.3%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(13.3%)となっている。



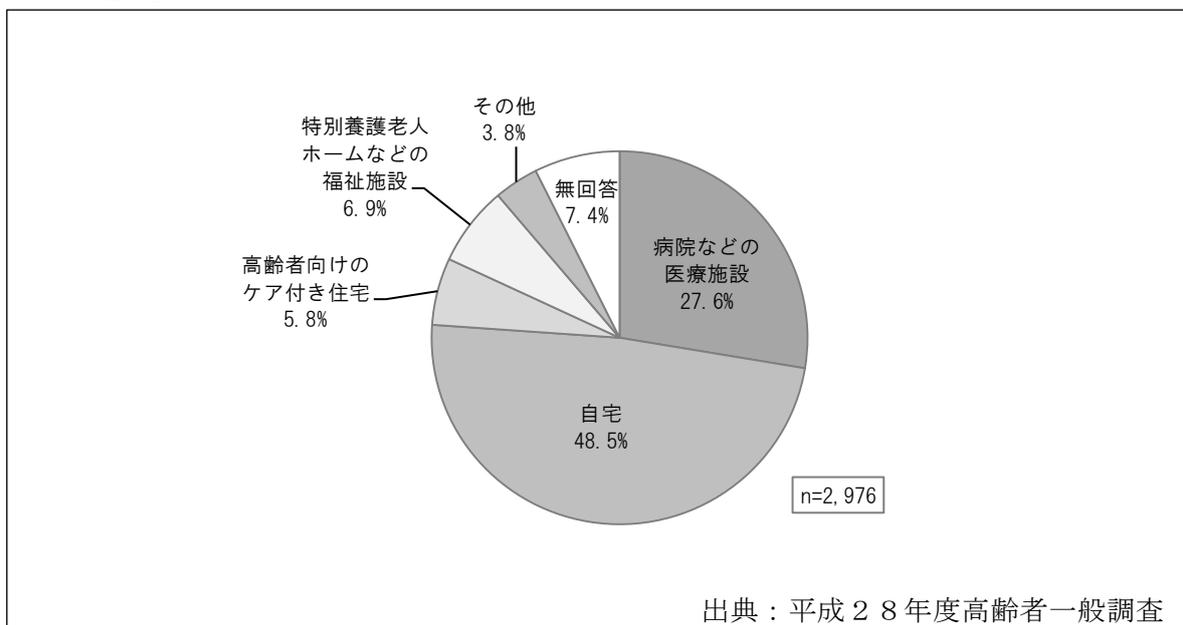
(3) 介護離職の状況

家族・親族の介護を理由とした退職・転職の状況については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が44.5%となっている。また、「主な介護者が仕事を辞めた（転職は除く）」が15.7%、「主な介護者が転職した」が4.2%となっている。



(4) 最期を迎えたい場所

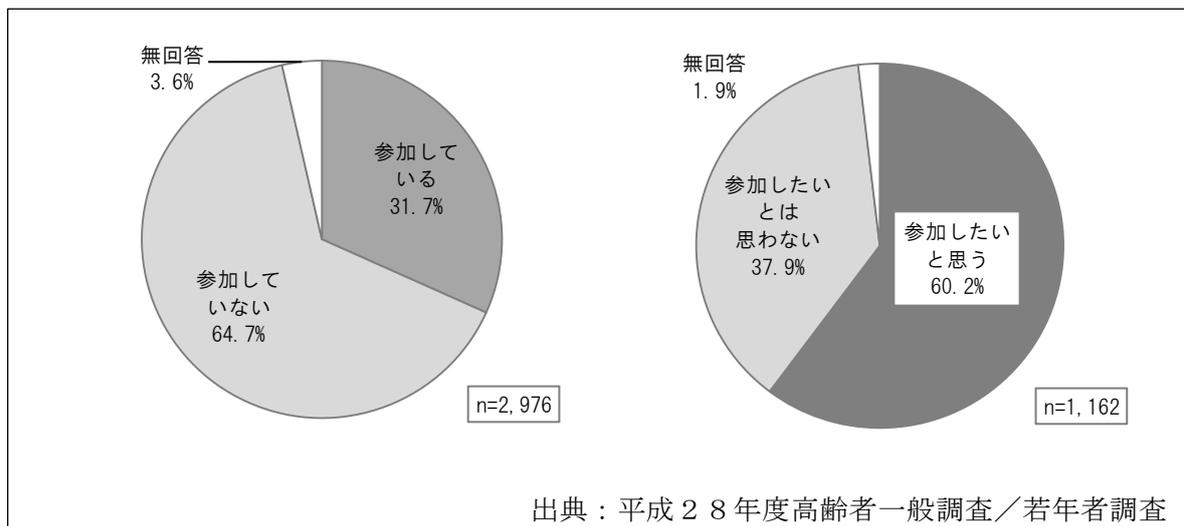
人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」（48.5%）が最も高く、次いで「病院などの医療施設」（27.6%）となっている。



7 高齢者の社会参加活動

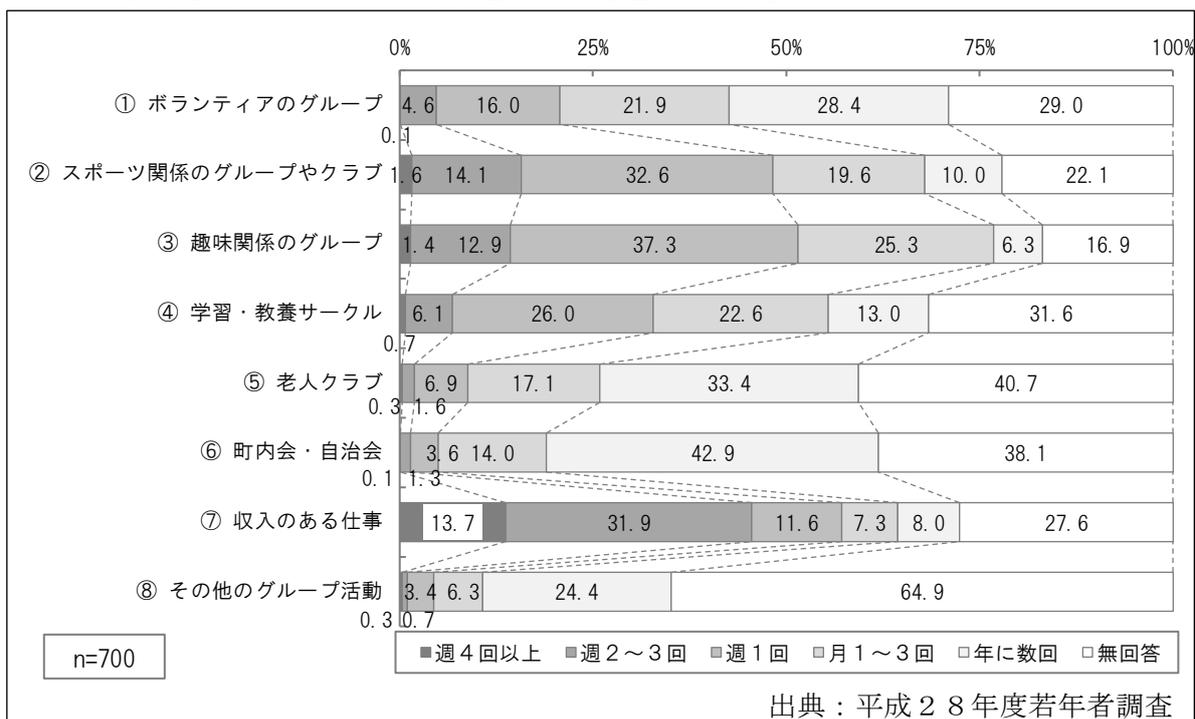
(1) 高齢者のグループ活動

グループ活動や社会活動に「参加している」が31.7%、「参加していない」が64.7%となっており、また、高齢者になったときのグループ活動や社会活動等への参加意向については、「参加したいと思う」(60.2%)が「参加したいとは思わない」(37.9%)を上回っている。



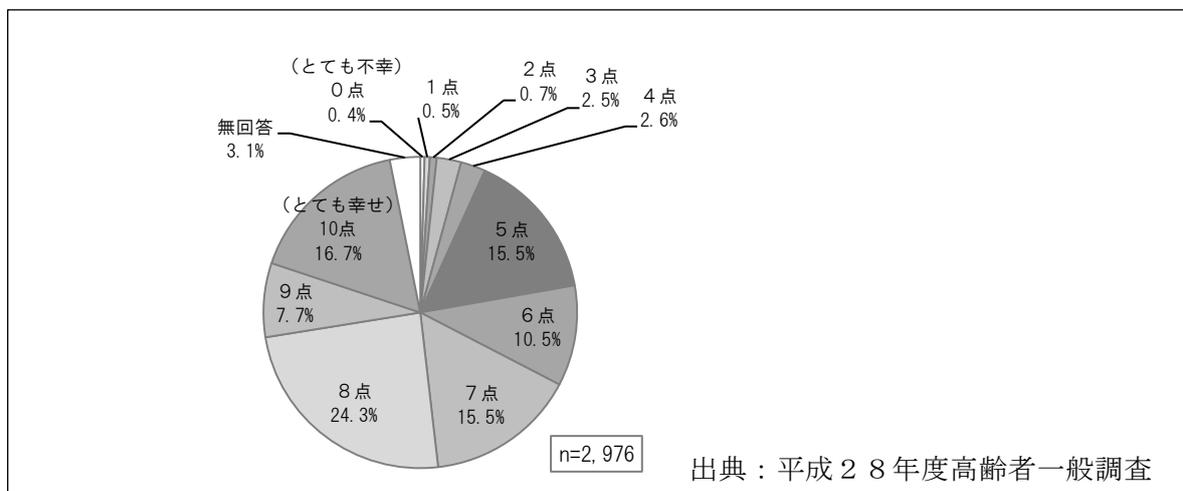
(2) 参加したい活動

「収入のある仕事」では週1回以上参加したい(週4回以上, 週2~3回, 週1回の合計)が57.2%となっており、週2~3回が30%を超えている。また、「趣味関係のグループ」(37.3%)及び「スポーツ関係のグループやクラブ」(32.6%)の週1回参加したいや、「町内会・自治会」(42.9%)及び「老人クラブ」(33.4%)の年に数回参加したいが、いずれも30%を超えている。



8 高齢者の幸福度

- ・ 高齢者の現在の幸せの程度については、10点満点評価で「8点」（24.3%）が最も高く、次いで「10点」（16.7%）、「5点」及び「7点」（いずれも15.5%）となっている。



- ・ 健康状態別でみると、健康状態が「とてもよい」と回答した人の40.1%が10点（下表参照）、健康状態が「まあよい」と回答した人の27.7%が8点と評価したのに対し、健康状態が「あまりよくない」と回答した人の30.0%、「よくない」と回答した人の24.4%が5点と評価し、健康状態が優良なほど幸福を感じやすいと考えられる。
- ・ 同調査において、現在の健康状態と幸せの程度と「生きがい」を感じている程度の相関については、健康状態が「とてもよい」と回答している方は、現在の幸せの程度が「8～10点」と高く「生きがい」を感じている程度も「充分感じている」方が多い。健康状態が「まあよい」と回答している方は、現在幸せの程度「5～7点」が多く、「生きがい」を感じている程度は「多少感じている」と回答された方が多い。
- ・ このことから、健康状態・幸せの程度・生きがいは相関があると考えられる。

		現在の幸せの程度							
		回答者	0点	1点	2点	3点	4点	5点	
全体 (件)		2,976	13	16	21	75	76	460	
現在の健康状態	とてもよい	514	0	3	0	2	4	18	
	まあよい	1,892	0.0	0.6	0.0	0.4	0.8	3.5	
	あまりよくない	434	4	5	11	28	42	288	
	よくない	78	5	5	6	31	24	130	
	無回答	58	14.6	1.2	1.2	1.4	7.1	5.5	30.0
			1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	8.6

		「生きがい」を感じている程度						
		回答者	充分感じている	多少感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答
全体 (件)		2,976	1,038	1,385	357	46	67	83
現在の健康状態	とてもよい	514	328	148	15	5	6	12
	まあよい	1,892	31.6	10.7	4.2	10.9	9.0	14.5
	あまりよくない	434	625	966	209	18	36	38
	よくない	78	60.2	69.7	58.5	39.1	53.7	45.8
	無回答	58	61	222	106	14	13	18
			14.6	5.9	16.0	29.7	30.4	19.4

		現在の幸せの程度						
		回答者	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体 (件)		2,976	311	462	722	229	498	93
現在の健康状態	とてもよい	514	25	62	127	62	206	5
	まあよい	1,892	4.9	12.1	24.7	12.1	40.1	1.0
	あまりよくない	434	218	331	525	153	260	27
	よくない	78	11.5	17.5	27.7	8.1	13.7	1.4
	無回答	58	60	63	60	13	25	12
			14.6	13.8	14.5	13.8	3.0	5.8

出典：平成28年度高齢者一般調査